

# 平成28年度教育事業 おおすみくん家 通学合宿

- 1 趣 旨 国立大隅青少年自然の家での集団宿泊生活や生活体験活動を行いながら、普段の学校生活を送ることをとおして、望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けさせるとともに、連帯感や協調性を育てる。
- 2 実施期間 平成28年11月14日(月)～平成28年12月16日(金) 5週  
平成29年 1月16日(月)～平成29年 3月10日(金) 9週  
※ 学校ごとに実施期間を指定する。
- 3 参加対象 鹿屋市内及び垂水市内の小学3年生～6年生児童  
※ 自然の家から学校までの所要時間がおおむね30分以内の学校
- 4 募集定員 各週40人

5 参加者

【学校別参加者数】

学年 学校名	3年			4年			5年			6年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
大始良小学校	2	3	5	5	4	9	4	10	14	9	11	20	20	28	48
西原台小学校	2	1	3	2	9	11	0	4	13	0	2	2	4	16	20
花岡小学校	0	2	2	3	4	7	5	8	13	3	6	9	11	20	31
寿北小学校	10	5	15	11	7	18	18	18	36	3	11	14	42	41	83
寿小学校	3	10	13	0	4	4	9	9	18	0	9	9	12	32	44
垂水小学校	4	5	9	3	8	11	2	8	10	0	0	0	9	21	30
新城小学校	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	4	5
水之上小学校	3	1	4	2	4	6	2	1	3	0	0	0	7	6	13
柘原小学校	0	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
吾平小学校	2	4	6	0	0	0	4	11	15	3	0	3	9	15	24
野里小学校	1	1	2	1	5	6	0	2	2	0	6	6	2	14	16
高須小学校	0	1	1	1	1	2	1	0	1	0	3	3	2	5	7
笠野原小学校	3	3	6	3	0	3	0	0	0	5	2	7	11	5	16
鹿屋小学校	0	7	7	6	9	15	13	6	19	0	6	6	19	28	47
西原小学校	1	7	8	10	11	21	0	9	9	5	5	10	16	32	48
東原小学校	0	6	6	0	3	3	2	4	6	4	0	4	6	13	19
田崎小学校	1	3	4	5	3	8	2	2	4	6	3	9	14	11	25
計	32	60	92	52	73	125	63	93	156	39	65	104	186	291	477

【参加日数別参加者数】

学年 日数	3年			4年			5年			6年			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1泊2日	3	4	7	1	6	7	2	2	4	2	3	5	8	15	23
2泊3日	16	28	44	12	37	49	33	36	69	15	24	39	76	125	201
3泊4日	6	15	21	15	13	28	18	26	44	7	19	26	46	73	119
4泊5日	7	13	20	24	17	41	10	29	39	15	19	34	56	78	134
計	32	60	92	52	73	125	63	93	156	39	65	104	186	291	477

- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員 研修指導員

## 7 基本的な生活時間

通学合宿開始日		通学合宿期間中		通学合宿最終日	
		6:00	起床・身支度・清掃	6:00	起床・身支度・清掃
		7:00	朝食	7:00	朝食
		7:30	バスで登校	7:30	バスで登校
		8:00	学校生活	8:00	学校生活
17:00	受付				
17:15	出会いのつどい オリエンテーション	16:15 ごろ	バスで下校 ※学校の校時表に従う	16:15 ごろ	学校から帰宅
18:00	夕食	17:00	学習等		
18:30	宿泊室へ移動	18:00	夕食		
19:00	学習等	19:00	学習・洗たく・交流		
20:30	入浴	20:30	入浴		
21:30	翌日の準備	21:30	翌日の準備		
22:00	就寝	22:00	就寝		

## 8 事業運営

- (1) 基本的には1週1校で実施するが、同じ中学校に進学する小学校や小規模校は複数校で実施した。
- (2) 子供たちの学習や生活指導を行う指導者として、担当職員1人と研修指導員1人の2人体制で指導に当たった。
- (3) 申込みの際に、アレルギーの有無、健康状態の確認等を行った。また、オリエンテーション時にも保護者に健康状態等について確認をとり、子供たち一人一人の実態把握に努めた。
- (4) 合宿中は、起床時や就寝時の健康状況や食事の様子などについてチェックし、子供たち一人一人の健康状況の把握に努めた。
- (5) 対象となる学校とは綿密に連絡を取り合い、連携を深めた。特に学習指導には責任を持って対応することを約束した。

## 9 事業の実際

- (1) 子供たちは基本的にグループで活動し、起床から登校、そして下校から就寝まで役割分担をしたり協力したりして楽しく生活することができた。
- (2) 異年齢集団の中で、高学年の子供がリーダーシップを発揮して掃除や片付けを行い、下級生の模範となる場面があった。
- (3) 若干の個人差はあったが、学習の時間になると自分の宿題や課題などに集中して取り組んでいた。

## 10 参加者の感想

- 友達と協力して生活することで、友達と仲良くなったりあまりしゃべらなかった人とのコミュニケーションもとれて、とても良い生活ができたと思います。
- テレビをいつも見ているけど、自分のことを全部自分でやってテレビを見る暇もないと感じた。テレビがない生活も楽しい。

## 11 成果

- 子供たちから、「知らない人と仲良くなった。」「家族の大切さが分かった。」「宿題に集中して取り組めるようになった。」といった感想が多く寄せられ、子供たちの意識や行動に変容が見られた。

